

令和5年度「学校経営方針」

はじめに

一之宮小学校で学ぶ子ども達が、知徳体の調和が取れ、心身が健康で人間性豊かな、主体的・積極的に学習や生活に取り組む人に育っていくことを願います。

そのために、一人ひとりを大切にした指導を全教職員がチームとして「子どもも、教師も、保護者も地域も喜びを感じる「行きたい学校、行かせたい学校」づくりを進めていきます。

1 学校教育目標

「夢をもち、心豊かにたくましく、自ら学ぶ子どもの育成」

～やさしく かしこく たくましく ～

2 めざす学校像

「行きたい学校、行かせたい学校」「働いてよかったと思える学校」

- ・児童が安心して学べ、確実に力をつけることができる
- ・保護者や地域から信頼され、任せてもらえる
- ・教職員がやりがいと喜びをもって取り組める

3 めざす子ども像

やさしさを持って、仲良く助け合う子（やさしく）

- ・あいさつができ、正しい言葉づかいができる
- ・感謝の心「ありがとう」を言え、人を大事に、物を大切にすることができる
- ・命を大切に、自然を大切にすることができる
- ・相手の立場や気持ちを理解し、多様な人々と協働することができる

子どもらしく生き生きと学ぶ子（かしこく）

- ・知識及び技能を習得し、それを生活に生かすことができる
- ・自分の考えを持ち、それを表現することができる
- ・学習の準備、片づけをしっかりとし、学習に意欲を持って取り組むことができる

とことんあきらめず、最後までやりぬく、強い心と体をもつ子（たくましく）

- ・めあてを持ち、ねばり強く頑張ることができる
- ・安全や健康に気を配り、自ら安全に生活できる
- ・心身ともに健康で、元気いっぱい活動できる

4 めざす教職員像

常に内省し、学び続けようとする教職員

- ・心身ともに健康で明るく、人間性豊かである
- ・時代の要請を的確に捉え、指導力、授業力を高め自己研鑽に努める
- ・児童、保護者及び地域と連携した教育活動を積極的に推進する
- ・人権感覚をもって、子どもとの対話を大切にする

☆今年度の重点目標と具体的な取り組み

【1】確かな学力の定着〈知〉

①基礎・基本の定着を図る指導の徹底

- ・個に応じた指導の充実（少人数指導、補充学習、eライブラリの活用）

②学びの基礎となる力の確立→『一小ナビ』の徹底

- ・学習の基盤作り（聴く・話すの基本、学習用具の準備）
- ・全教育活動を通じて主体的・対話的な深い学びを意識した授業実践

③主体的に学ぶ力の育成→楽しい授業をおこなうための授業改善

- ・指導目標・指導内容（つけたい力）・めあてを明確にした授業実践
- ・「家庭学習の手引き」等の周知徹底と家庭学習の習慣化
- ・総合的学習の時間の充実

④学ぶ喜びを体感させる→社会科見学や体験学習の機会

- ・わかった、できた（学ぶことが）楽しい授業の創造
- ・体験的学習の充実
- ・地域の先生、外部人材、出前授業等、「専門性」の有効活用

【2】豊かな心の育成〈徳〉

①コミュニケーション能力の育成

- ・5つの「あ」の実行
 - ① 朝ごはん ②あいさつ（おはよう・こんにちは・さようなら）③ありがとう
 - ④相手のことを考えて ⑤あかるく
- ・異年齢交流の充実（たてわり活動、集団登下校）

②朝の読書活動の充実→月・木曜日の朝読書と水曜日の保護者等による読み聞かせ

- ・ことばを学び豊かな感性や創造力を養う

③道徳教育、人権教育の実践と推進→自分大好き

- ・「道徳」の授業を通して、命を大切にする心育む道徳的価値の自覚を促すとともに、児童の生活に生きる道徳教育の推進
- ・いじめは絶対に許さない、見逃さない「いじめは、100%いじめる側が悪い」
- ・相手を思いやる態度、命を大切にする心を育む

④インクルーシブ教育、キャリア教育の実践と推進

⑤学校美化・清掃活動に努める

- ・教室内・外の整理・整頓に努める
- ・教職員と児童が協働して行う清掃活動

【3】健やかな身体の育成〈体〉

①運動能力の向上

- ・体育の授業改善 ・外遊びや体育的行事・活動をとおして、体力・運動の増進を図る

②基本的な生活習慣の確立

- ・「早寝、早起き、朝ごはん」の定着を目指すとともに、家庭に積極的に働きかけていく。

③食育の推進

- ・望ましい食習慣及び食のマナー指導の充実 ・アレルギー対応の推進と充実

【4】学校経営の重点

①開かれた学校の推進

- ・学校・学年・学級だより等による情報提供。学校行事、体験学習、講演会等の公開
- ・P T A活動や授業参観・懇談会等を通して、気軽に話しや相談ができる学校・学級の雰囲気づくりに努める

②防災教育の充実→「自分の身は自分で守る」

- ・「落ちてこない」「倒れてこない」を徹底し、危険察知能力を高める
- ・予告なしの避難訓練を通して、児童の防災意識を高め、教職員の適切な対応が図れるようにする。「自分の身は、自分で守る」
- ・行政・自治会・学校が連携を深め、学校防災力の強化

③支援教育・支援体制の充実

- ・教育相談コーディネータを中心とした支援教育の充実
- ・ことばの教室や特別支援学級(たけのこ級)との連携
- ・特別支援学級(たけのこ級)の交流を通して、教職員全体の特別支援教育に対する理解と推進を図る
- ・安心できる居場所づくり、インクルーシブ教育の推進

④ 指導と評価の一体化をすすめ、学力の向上を図る（通知表の信頼性の向上）

- ・通知表「あゆみ」の信頼性・妥当性のある観点別評価、説明責任
- ・校内研究の推進 道徳教育の授業実践

⑤人材育成と業務の効率化を図るために、グループ組織を生かした学校運営の活性化

- ・一人ひとりが、当事者意識を持って仕事に取り組む
- ・会議や委員会等の内容の見直しと精選を図り、時間短縮と多忙化解消に努める

⑥外国語教育の推進

- ・F L Tの活用

⑦ I C T活用の授業の推進

- ・児童一人一台端末
- ・町研修・校内研修の充実

⑧校内研究の充実

- ・道徳教育授業実践の研究を行う。
- ・ブロック学年の授業の公開・研究協議

⑨事故防止に向けた継続的な取組

- ・速やかな連絡・報告を徹底し、適切な対応ができるようにする。（報・連・相の徹底）
- ・保護者の話に耳を傾け、誠意をもって対応する
- ・服務規律の徹底と不祥事防止

⑩働き方改革

- ・業務にかける時間の洗い出し
- ・教職員の意識改革